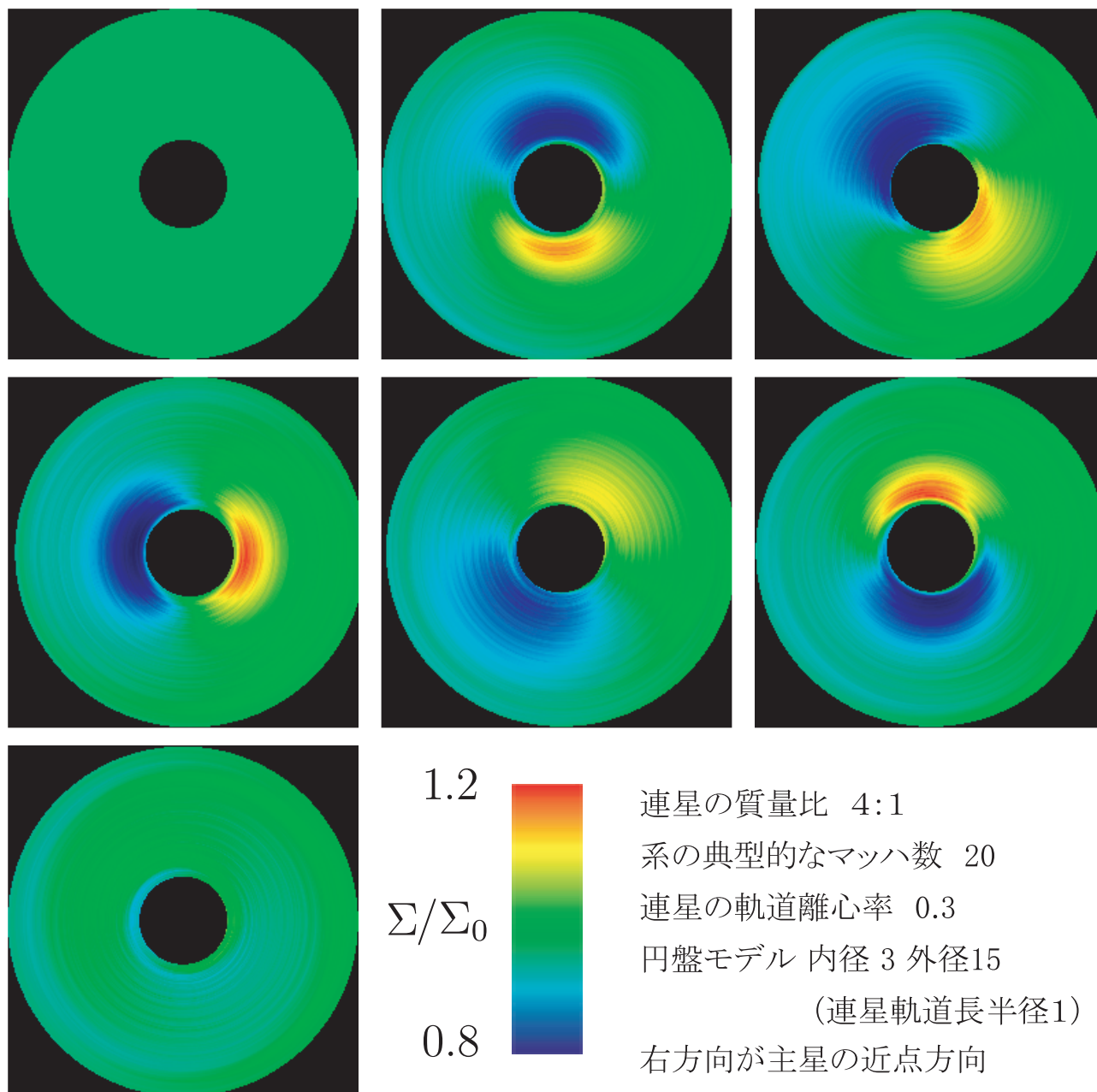


連星系周りの原始惑星系円盤の構造

神戸大学 今枝 佑輔

原始惑星系円盤の歳差運動のタイムスケールでの長時間進化



連星周りの原始惑星系円盤の構造の長時間進化を調べた。ここでいう長時間進化とは歳差運動のタイムスケールでの進化のことで、連星半径が数10AU程度の場合、10万～100万年程度のタイムスケールでの時間進化にあたる。連星に軌道離心率がある場合、原始惑星系円盤の中には非軸対称の重力場に対するレスポンスとして $m=1$ の構造が作られる。この構造は歳差運動のタイムスケールでゆっくりと回転するパターンを持ち、1歳差時間の間に成長と減衰を繰り返すことがわかった。